禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

D17

「中央職業能力開発協会編」

令和７年度 技能検定
３級 配管 学科試験問題
(建築配管作業)

1. 試験時間　１時間
2. 問題数　　30題
3. 注意事項
   (1)　係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2)　答案用紙(真偽法用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3)　係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。
   (4)　試験開始の合図で始めてください。
   (5)　解答の方法(真偽法)は次のとおりです。
      イ.　一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ.　答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ハ.　答案用紙の解答欄は、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄は100題まで解答できるようになっています。
   (6)　電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7)　携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8)　試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9)　試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10)　試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11)　試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

1　管とフランジの直角度を出すものとして、さしがねも使用される。

2　ボルトの締付け力を管理するためには、トルクレンチを用いる。

3　金切りのこで鋼管を切断する場合は、押して切るのが原則である。

4　銅管は、ねじ切り接合がある。

5　給水及び給湯配管の水圧試験は、エアを十分抜いてから実施する。

6　保温材の必要条件の一つに、吸水性がある。

7　アーク溶接は、交流アーク溶接と直流アーク溶接の2種類に大別される。

8　配管用炭素鋼鋼管には、亜鉛めっきを行った白管と亜鉛めっきを行わない黒管がある。

9　縮尺1 / 20で表されている図面中の長さ50mmは、実物では1000mmである。

10　労働安全衛生法関係法令によれば、事業者は、高さが1.5m以上の箇所(作業床の端、開口部等を除く。)で作業を行う場合において墜落により労働者に危険を及ぼすおそれのあるときは、原則として、足場を組み立てる等の方法により作業床を設けなければならないとされている。

11　飲料用水槽の壁、天井又は床と、建築物の他の部分は、兼用してもよい。

12　ボイラや貯湯タンクからの排水は、直接、排水管に接続するとよい。

13　雨水ますには、インバートを設けなければならない。

14　飲料用受水タンクの上部、側面及び下部には、点検スペースを確保する必要がある。

15　公共建築工事標準仕様書によれば、給湯配管は、管の伸縮を妨げないようにし、均整な勾配を保ち、逆勾配、空気だまり等循環を阻害するおそれのある配管をしてはならないとされている。

16　クロスコネクションとは、上水給水管に井水などの配管を接続することをいう。

17　壁などを貫通する配管の施工では、コンクリート打設前に、スリーブを取り付ける。

18　飲料用受水タンクからの排水は、間接排水とする。

19　バキュームブレーカは、一般に、汚染された水が給水配管内に逆流するのを防ぐことができる。

20　給水管にエアチャンバを取り付ける目的は、管内のエアを排出するためである。

21　鋼管は、銅管と直接接続すると腐食する。

22　洗面器の吐水口空間は、雑排水等が水栓へ逆流することを防ぐために設けるものである。

23　ポリエチレン管は、土中埋設給水配管に用いることができる。

24　ライニング鋼管の切断には、電動帯のこ盤を用いるとよい。

25　水中ポンプには、フート弁が必要である。

26　排水横走管の管径が100mm以下の場合、掃除口の大きさは、管径と同径とする。

27　温水ボイラの逃し管の途中には、弁類を取り付けてはならない。

28　泡消火設備は、電気室の消火設備に適している。

29　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、次図は、引違い窓の平面表示記号である。



30　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、次図は、コンクリート及び鉄筋コンクリートを表す材料構造表示記号である。

